



創業する方から、クラウド会計を利用したいと相談を受けました。今、クラウド会計はどのように世間に認知されているのでしょうか。



クラウド会計ソフトの利用状況調査(2017年3月末) MM総研 より

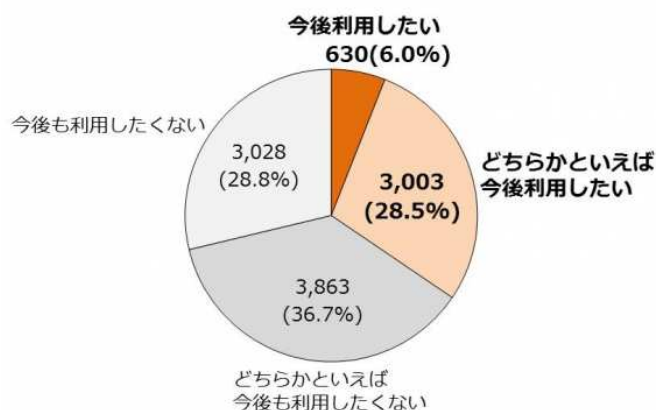
①個人事業主のクラウド会計利用、認知度増加

- ・会計ソフト利用者の中、クラウド会計ソフトの利用率は13.2%
- ・クラウド会計ソフトの認知度は16年12月調査より3.8ポイント増の69.5%
- ・クラウド会計ソフトの事業者シェアでは弥生が56.8%、マネーフォワードが19.9%

■会計ソフトの利用形態 (単一回答)

	2016年12月調査		2017年3月調査	
	個人事業主数	比率	個人事業主数	比率
クラウド会計ソフト	521	9.7%	745	13.2%
PCインストール型会計ソフト	4,315	80.3%	4,398	77.7%
分からない	537	10.0%	519	9.1%
合計	5,373	100.0%	5,662	100.0%

■クラウド会計に利用意向(クラウド会計未使用の個人事業主)



クラウド会計ソフトの利用状況調査(2017年3月末) MM総研
 2017年確定申告を実施した個人事業主(1万7,420事業者)を対象としたWebアンケート調査。
 「会計ソフトを利用している」との回答は32.5%(5,662事業者)
<https://www.m2ri.jp/news/detail.html?id=236>

事業年数では、2年未満が50.0%、2年以上5年未満が40.5%、5年以上20年未満が33.8%、20年以上が31.3%の利用意向だった。事業数が若いほど利用意向が高い結果となっている。今後、起業や独立をめざす若い個人事業主が引き続き、クラウド会計をけん引していくと思われます。